

# 西方見聞録 「世界はこんなふうだった」

## 第5回 インド北西部 編

主催：大鹿村中央構造線博物館

大鹿村在住の伊東一郎さんが撮影したインド北西部の写真をスライド上映します。撮影地域はスリナガル(1989年)、デリー(2016/2018年)、ラジャスタン州・グジャラート州(2018年)、ゴア(1989年)で、インド独特の極めて多様な文化や自然、人々の生活などについて、多数の写真をご自身の簡単な解説付きで紹介上映します。



- 第1話(1月8日(水)) カシミール～デリー～ゴア。カシミールのイスラム文化の町から首都デリーとその周辺を経てゴアの海岸まで。
- 第2話(1月10日(金)) パキスタン国境に向けて広大なタール砂漠が広がるラジャスタン州ジャイプール、ジョドプール、ジャaisalメール及びその周辺地域。
- 第3話(1月11日(土)) ラジャスタン州。ジャaisalメール城塞、ウダイプールとその周辺、インド建築の最高傑作とも言われるラナクプールのアディナタ寺院まで。初めて写りこんだ幽霊と思われるミステリアスな写真も公開。
- 第4話(1月17日(金)) グジャラート州西部。グジャラート州はヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、拝火教、イスラム教、キリスト教など多くの宗教が混在、自然も変化に富んでいる。ブジとその周辺、ジュナガート、マンドウビなど。
- 第5話(1月18日(土)) グジャラート州東部。イスラム色の濃いアーメダバード、ジャイナ教の聖地パリタナ、ジャイナ教・ヒンドゥー教共通聖地ギルナール山など。